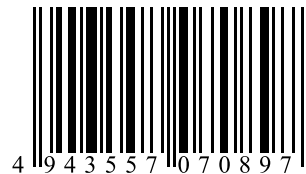


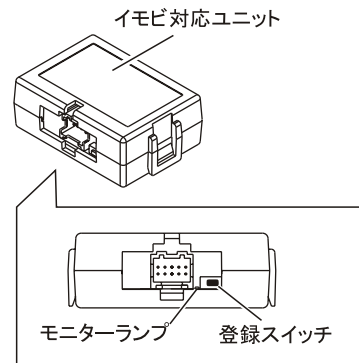
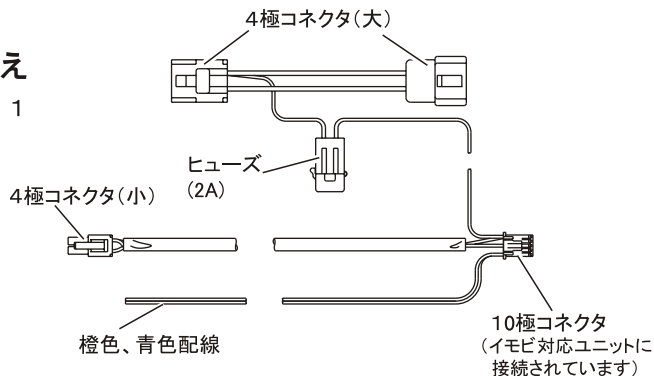
1 基本説明

・このユニットはイモビライザー対応品のエンジンスタートを、日産のイモビライザー装着車（当社の車種別専用ハーネス表に記載されている適応車種のみ）に取付けする際に使用します。



2 梱包内容・各部のなまえ

- ・イモビ対応ユニット（本体）：1
- ・ハーネスキット：1
- ・両面テープ：1
- ・エレクトロタップ：2
- ・インシュロックタイ：2
- ・取付説明書（本書）：1



3 取り付け方法・登録手順

<準備>

・エンジンスタート受信機と専用ハーネスは、あらかじめ車両側に取り付け（接続作業）しておいてください。

1. ハーネスキットの取り付け（図1参照のこと）

① CAN-L、及びCAN-H線の接続

- ・イモビ対応ユニット(本体)のコンネクタから出ている橙色の配線を、車両側のCAN-Lの配線に接続します。
- ・同様に青色の配線を、車両側のCAN-Hの配線に接続します。
- ・CAN-L、及びCAN-Hの車両側接続先は、車種別取付資料(FAXサービス等で入手)を参照して、付属のエレクトロタップを使用して分岐接続してください。



警告

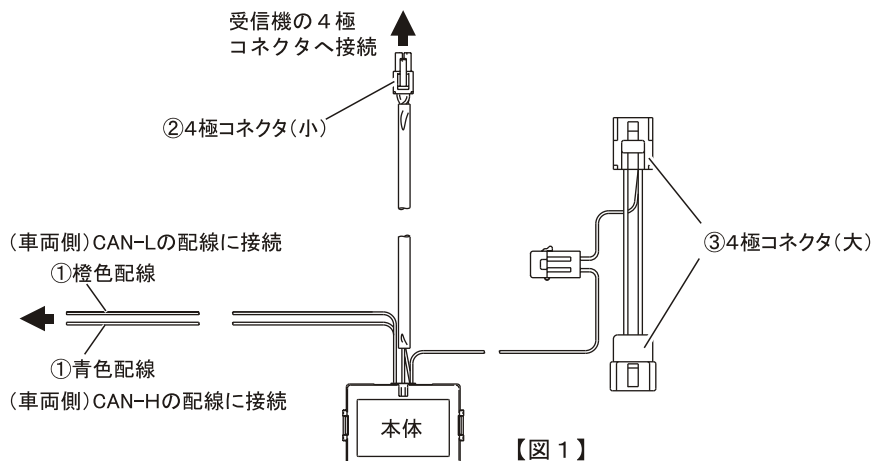
CAN-L、及びCAN-Hを車両側に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。
接続作業後は、2本の配線が必ず車種別取付資料で指示した通りに接続されているかを確認してください。

② 4極コネクタ(小)の取り付け

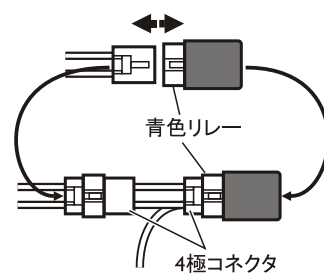
エンジンスタート受信機の4極コネクタ(CN4)に接続します。

③ 4極コネクタ(大)の取り付け

まず、エンジンスタートの専用ハーネスに付いている青色リレーを外します。そしてハーネスキットの4極コネクタ(大)を、専用ハーネスの4極コネクタ(青色リレーを外したコネクタ)に接続して、さらに青色リレーを接続します。（図2参照）



【図1】



【図2】

2. 登録手順・始動確認

<準備>

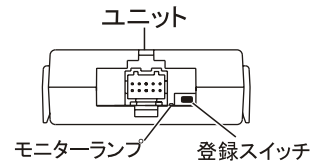
- ・このユニットの登録中、車両のエンジンを約40分間かけたままの状態にします。40分間のアイドリングに必要な燃料(ガソリン/軽油)があることをあらかじめ確認してください。(不足している場合は、給油しておいてください)
- ・エンジンスタート(既に取り付けしてある)で、オートマチック車の認識設定を行ってください。(設定手順は、エンジンスタートの取付説明書を参照)

(裏面へ)

<登録作業>

- ・まず車両の全ドアを閉めてから、ルームランプが完全に消灯するまで（30秒程度）待ってください。
- ・全ドアを閉めたままにして、以下の手順で作業を行ってください。尚、手順の①～②は時間制限があるので、作業前に以下の内容をお読みいただき、手順を理解した上で作業を進めてください。

- ①エンジンスターターのリモコンでSTART操作をしてください。
 - ・受信機（リレーユニット）からイモビエー音（ブーブーブ、又はブーブ）が出ます。
- ②①から10秒以内に車両のキー（又はノブ）でエンジンを始動して、イモビユニットのモニターランプが点灯したら、すぐに（点灯中に）登録スイッチを押してください。（※）
 - ・登録スイッチを押した後、ユニットは登録動作に入り、モニターランプが点滅します。
 - ・モニターランプが点滅中は、そのままエンジンをかけたままの状態にして待機してください。（約40分かかります）



※もし、モニターランプが点灯しなかったり、点灯中に登録スイッチを押せなかった場合は、キー（又は、ノブ）をOFFしてエンジンを止めた後、イモビユニット本体のコネクタを1回外してから再度取り付けしてください。その後、上記の①～②の作業をもう一度やり直してください。

- ③イモビユニットのモニターランプが消灯後、キー（又はノブ）をOFFしてエンジンを止めてください。
 - ・モニターランプが消灯すると、登録終了です。

<始動確認>

- ・登録作業終了後、車両のキー（又はノブ）でエンジンが始動すること、及びイグニッションスイッチからキーを抜いて（ノブをOFFの位置にして、インテリジェントキーを車両室外の十分離れた場所に移して）から、エンジンスターターでSTART操作をしてエンジンが始動することを確認してください。
- ・なお、エンジンスターターによりエンジン始動してアイドリング中は、車両のセキュリティーインジケータランプが点灯したままになる車種がありますが、異常ではありません。（STOP操作等でエンジンを停止すると、インジケータランプは通常の動作に戻ります）

3. ユニットの固定・配線処理等

- ・エンジンスターターに付属の取付説明に準じてください。



警告 配線ケーブルは車両の可動部に触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないようにインシュロックタイ等で結束処理をしてください。場合によっては断線、ショートが起こり、受信機または車両のシステムを破損したり、アクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり、車両火災を起こす危険があります。

4 ES-89 Lightのドアタイマーキャンセルについて

- ・エンジンスターターによるアイドリング時の、ドアタイマー機能（ドアを開けた後、数十秒間アイドリングを継続してからエンジンが停止する機能）を、送信機による設定でキャンセルすることができます。
- ・ドアタイマー機能をキャンセルすると、ドアを開けるとすぐにエンジンは停止します。
- ・安全上ドアを開けてすぐにエンジン停止させる場合には、ドアタイマー機能をキャンセルすることをおすすめします。

- ・ドアタイマー機能キャンセル（使用しない）設定手順

操作	送信音	受信機アンサーバック音	備考
キースイッチ→ON			受付時間10秒以内
START&UNLOCK同時	ピピー	ピロピロピロ……	受付時間10秒以内
STOP	ピピ	ブーブ	完了

- ・ドアタイマー機能を使用する場合には、下記の手順で設定することにより使用できます。
- ・ドアタイマー機能作動（使用する）設定手順

操作	送信音	受信機アンサーバック音	備考
キースイッチ→ON			受付時間10秒以内
START&UNLOCK同時	ピピー	ピロピロピロ……	受付時間10秒以内
START	ピッ	ピピー	完了

5 その他

- ①車両のセキュリティーインジケータランプの点灯について
 - ・エンジンスターターによりエンジン始動してアイドリング中は、車両のセキュリティーインジケータランプが点灯したままになる車種がありますが、異常ではありません。（STOP操作等でエンジンを停止すると、インジケータランプは通常の動作に戻ります）
 - ・また、エンジンスターターによりエンジン始動して、ドアタイマー作動中にインテリジェントキーのノブをONにして走行した場合にも、車両のセキュリティーインジケータランプが点灯したままになる車種がありますが、異常ではありません。（走行後にエンジンを停止すると、インジケータランプは通常の動作に戻ります）
- ②整備等で車両のバッテリーを外したり、イモビ対応ユニットを外したりしてユニットの電源が切られた場合には、安全のためにエンジンスターターでのエンジン始動ができなくなります。

この場合には、エンジンスターターでSTART操作をして、受信機からイモビ通信エラー音（ブーブーブ）が出てから10秒以内に1回車両のキー（又はノブ）でエンジンを始動して10秒以上待ってから、エンジンスターターを使用してください。

また、電源が切られてエンジンスターターのオートマッチング車認識設定が解除された場合は、その設定をしてからエンジンスターターを使用してください。